



令和5年



月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

■塗りつぶしの日 は 休館です。

『言語の本質』

今井むつみ/中央公論新社/801 円

なぜヒトはことばを持つのか？子どもはいかにしてことばを覚えるのか？オノマトペとアブダクション(仮説形成)推論という人間特有の学ぶ力を鍵に、言語の誕生と進化の謎を紐解き、ヒトの根源に迫る。

私たちが毎日使う「言語」はどう生まれ、進化したのか。楽しいエピソードとともに読める本。



<p>『ちゃんと「読む」ための本』 奥野宣之/PHP 研究所/002.7 オク</p> <p>あわてず、急がず、ていねいに。「ちゃんと読む」ことで、視野が広がり思考は深まる。そしてもっと自由に豊かな世界を持つことができる。情報整理の達人が「ちゃんと読む」ためのノウハウや習慣を紹介する。</p>	<p>『ニッポンのアンティークしおり』 豊嶋利雄/グラフィック社/024.9 トヨ</p> <p>その小さな世界には、当時の風俗、世相、流行が息づいている。明治・大正・昭和を彩った貴重なしおりコレクション 466 枚をカラー写真や簡潔な解説とともに紹介する。</p>	<p>『企業博物館とは何か』 古田ゆかり/青弓社/069.8 フル</p> <p>民間企業が自社の歴史や製品を展示・紹介する企業博物館。その歩みと社会的な意義をインタビューから描き出し、技術継承、貴重な産業資料のアーカイブなどの役割を明らかにして、今後の可能性を提言する。</p>	<p>『脳がゾクゾクする不思議』 仲谷正史/岩波書店/141.2 ナカ</p> <p>鳥肌が立つ、リラックスするなど、外から観察できる生理応答や主観的な心理応答が得られる ASMR。その歴史や代表的な科学研究を紹介したうえで、3 人の研究者がそれぞれの専門領域からこの生理現象を掘り下げる。</p>
<p>『Remember 記憶の科学』 リサ・ジェノヴァ/白揚社/141.3 シエ</p> <p>認知症による物忘れと、年齢相応の物忘れの違いは？記憶の仕組みを活かした、画期的な暗記法とは？作家で神経科学者のリサ・ジェノヴァが、記憶が形成される仕組みや、記憶の驚異のパワーと弱点をわかりやすく解説。</p>	<p>『石の考古学』 奥田尚/吉川弘文館/210.3 オク</p> <p>日本各地で採石され、古墳の石室や石棺などに使われた石材を比較し、地域性や社会状況を究明。石工集団や石材の流通も分析し、瑪瑙や翡翠などの玉にもふれ、古代日本の謎に迫る。</p>	<p>『甦る戦災樹木』 菅野博貢/さくら舎/210.7 カン</p> <p>燃える町、逃げ惑う人々…。あの日、樹々は何を見たのか。2014 年から 2023 年にかけて行った、空襲の生々しい損傷を残す全国の戦災樹木への調査・探索・研究をもとに、戦争と戦後を考える。</p>	<p>『リスク&チョイス』 ジョージ・G.スピロ/ニュートンプレス/331 スピ</p> <p>「人はいかにして意思を決めるのか」を解明するために科学者たちが提唱してきた、さまざまな理論を 18 世紀までさかのぼって紹介。数々の理論が生まれてきた過程を、科学者たちの豊富なエピソードとともに描く。</p>
<p>『学ぶことは、とびこえること』 ベル・フックス/筑摩書房/367.1 フツ 文庫</p> <p>教室での性差別や人種差別にどう対処するか、異なる経験をいかに語り合うか、学びの喜びと不安。肌の色、ジェンダー、階級の囲いを破るため、ブラック・フェミニストの大学教師が学生と教師の双方に語りかける。</p>	<p>『数学が -ルの秘密ノート 数を作ろう』 結城浩/SB クリエイティブ/410.4 ヨウ</p> <p><数>って自分で作れるの？「僕」と 3 人の少女が、楽しい数学トークを繰り広げながら、数の本質と魅力に迫る。Web サイト『ケイクス』連載を書籍化。</p>	<p>『思い出せない脳』 澤田誠/講談社/491.3 サワ</p> <p>人の名前を思い出せないとき、ふっと思い出せたとき、脳内ではいったい何が起きているのか。日常的な「記憶の謎」のメカニズムから、記憶という能力の本当の意味まで、最先端の知識を分かりやすく解説する。</p>	<p>『自宅で湿地帯ビオトープ!』 中島淳/大和書房/519.8 ナカ</p> <p>「生物豊かな湿地帯ビオトープ」を自宅の庭やベランダにつくる方法を解説する。個人宅のビオトープ・ビオトープ公園・野生の湿地帯などの紹介、生き物図鑑も収録。</p>
<p>『塩と油で下味冷凍』 小田真規子/主婦の友社/596 オタ</p> <p>肉や魚に塩と油をまぶして冷凍するだけ！油の力で冷凍&解凍が早くなり、塩の効果で熟成したような香りや味わいに。塩と油の下味冷凍のほか、基本調味料の下味冷凍、魚介・野菜の冷凍法を紹介する。</p>	<p>『行列のできる子ども健康相談室』 竹綱庸仁/KADOKAWA/598.3 タケ</p> <p>年間 3 万人の子どもを診る小児科医が、発熱やけいれん、湿疹など、子どもの症状の「見過ごしてはいけないポイント」を解説。「病気かも？」フローチャート&緊急性チェックリスト付き。</p>	<p>『都会にフジを咲かせましょう』 藤三郎/文一総合出版/627.7 フジ</p> <p>中世初期にはフジの名所として知られていた大阪・野田で、フジを守り続けてきた「藤家」当主によるガイド。上手に花を咲かせる方法から、歴史にあらわれるフジ、文化史、全国の名所まで紹介する。</p>	<p>『見わけがすぐつく樹木図鑑』 宮内泰之[監修]/成美堂出版/653.2 ミヤ</p> <p>北海道～沖縄で見られる自生・植栽の樹木のうち、身近な環境で観察できる代表的な種を、見わけがすぐつくように葉っぱを軸として 480 種紹介。花や果実の写真やイラスト、花期・果期カレンダー、観察フィールドなども掲載。</p>
<p>『思い出の昭和型板ガラス』 吉田智子/小学館/751.5 ヨシ</p> <p>かつてはどこの家でも窓や建具、食器棚の扉などに使われていた模様入りの「昭和型板ガラス」。さまざまな人たちの昭和型板ガラスをめぐる思い出を収録する。60 種の模様・名前などがわかる「昭和型板ガラス図鑑」も掲載。</p>	<p>『残照のドールハウス』 小幡耕一/亥辰舎/759 オハ</p> <p>ドールハウスに映像や音の演出を加えた、他にない作品づくりで知られる作家・小幡耕一の作品集。お風呂屋さん、古都の町家、名店の再現、湯治旅館といったノスタルジックな和風ドールハウスなどを紹介する。</p>	<p>『雪原の足あと』 坂本直行/山と溪谷社/786.1 サカ 文庫</p> <p>十勝平野の牧場と開拓地での 30 年にわたる困難な生活ののち、山岳画家として日高の山々や北の大地に向き合うことを決めた坂本直行の画文集。原野と山脈への深い愛情を、山岳画や植物のスケッチとともに綴る。</p>	<p>『女ことばってなんなのかしら?』 平野卿子/河出書房新社/814.9 ヒラ</p> <p>日本語の「女ことば」、それは日本人に根付く「性別の美学」の申し子である。翻訳家として西洋語に長年接してきた著者が、女ことばを産んだ土壌と歴史的背景、およびそこから生じる日本の女と男の関係性を見つめ直す。</p>
<p>『英語脳スイッチ!』 時吉秀弥/筑摩書房/835 トキ</p> <p>英語という言語、そして英文法のなかに現れる、英語話者による「世界や人間関係の捉え方」を知れば、「なぜこの言い方(文法)を使うのか」が腑に落ちる。英語話者による世界の見方のポイントを凝縮して紹介する。</p>	<p>『俳句ミーツ短歌』 堀田季何/笠間書院/911.3 ホリ</p> <p>俳句と短歌をもっと自由に楽しめるよう、俳句と短歌の様々な側面を紹介。「季語を入れて字数を守ればいい?」「内容は実際の経験でないため?」といった疑問にも答える。俳誌『楽園』連載を加筆し書籍化。</p>	<p>『疲れた心の癒し方』 五木寛之/NHK 出版/914.6 イツ</p> <p>「思い出」「回想」こそ、前向きのためのエネルギーです。作家・五木寛之の NHK「ラジオ深夜便」の語りを再構成した、人生百年時代の後半生を快活に過ごすための道案内。</p>	<p>『文通小説』 眞島めいり/講談社/F マシ 青少年</p> <p>始まるのは、ほんとうの<文通>。貴緒が遠くへ行ってしまふことの現実感が、その単語ひとつにぎゅっと詰まっていた。ちゅうでん児童文学賞大賞、児童文芸新人賞を受賞した眞島めいりによる青春小説。</p>

図書館のホームページで蔵書検索や本の予約ができます。また、登録された方にはメールで新着本をお知らせする「新着案内メール」を配信しています。

行事予定は裏面へ

図書館ホームページ

